

氏名	小川孔美	部署	社会福祉子ども学科	職名	講師
研究分野	高齢者福祉 専門職連携教育(IPE) 専門職連携実践(IPW) 高齢者虐待防止				
学位	社会福祉学(修士)				
学歴	1999日本女子大学大学院 人間社会研究科 社会福祉学専攻(修士) 2010首都大学東京大学院 人文科学研究科 社会行動学専攻 社会福祉学 後期博士課程 (満期退学)				
経歴	1989 国立研究開発法人国立国際医療研究センター 1992国立がん研究センター東病院 2003社会福祉学科助教 2011社会福祉学科 講師				
所属学会(役職)	日本社会福祉学会 日本高齢者虐待防止学会 日本保健医療福祉連携教育学会(IPW委員会)				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	介護職員初任者研修テキスト	共著	(1)公益財団法人 介護労働安定センター (2)P23-35	公益財団法人 介護労働安定センター編著	2015年3月
(2) 論文					
1	郊外型集合住宅で展開する複合型サービスに求められる課題ー地域包括ケアシステム上の住民ニーズを明らかにする	共著	公益財団法人勇美記念財団 P26-34	まいほーむ新三郷副所長小渡大樹 編著	2015年9月
2	地方自治体の地域総合支援システム構築へ向けたネットワークの資源開発のための基盤研究	共著	埼玉県立大学 奨励研究報告書	木下聖 長友祐三 小川孔美	2016年3月
(3) 学会発表					
1	A救命救急センターにおける長期入院高齢者患者における課題	単著	第17回 埼玉県健康福祉研究発表会	○小川孔美	2016年2月
2	『IPEプログラムへの「満足」「学習成果」に関する反応と職種によるその違いについて「共通理解」に焦点をあてたIPEプログラムの試み(第2報)』(共同)	共著	第8回日本保健医療福祉連携教育学会	藤井博之、大笹勝典 大嶋伸雄、小川孔美 北澤彰浩、小橋孝介 島充子、由井和也、 吉浦輪	2015年8月
3	『地域包括ケアシステム構築における保健所とのIPW』	共著	第8回日本保健医療福祉連携教育学会	○小川孔美、原和彦	2015年8月
(4) その他					
1	「RECOMMENDED BOOKS 教職員推薦図書」	共著	埼玉県立大学	日本一大学構想プロジェクトチーム	2016年3月
2	専門職連携スキルアップ講座テキスト	共著	埼玉県立大学	小川孔美 嵩末憲子 横山恵子 上原美子	2016年1月
3	専門職連携アドバンス講座テキスト地域ケア会議編	共著	埼玉県立大学	小川孔美 嵩末憲子	2015年8月
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	公益財団法人勇美記念財団		「在宅医療研究への助成」健和会 新みさと訪問看護ステーション/まいほーむ新三郷副所長小渡大樹 代表(研究分担者)		2014-2015
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	高齢者福祉論	2015.4-2015.8	介護保険制度、診療報酬等改正事項と、改正予定をふまえ、新たな現場の情勢を事例提供しつつ展開した。		
2	社会福祉概論	2015.4-2015.8	1年生の関心や理解を深めるため、映像を取り入れながら解説した。		
3	ソーシャルワーク実習指導 I	2015.10-2016.2	実習前の倫理や制度、施設等への理解を深める指導を、パンフレット、最近の現場における取組事例を使用し指導した。		
4	ソーシャルワーク実習指導 II	2015.4-2015.8	実習後の自身の現場での体験やリフレクションを深めるため、適切な論文を紹介説明し共有した。		

(2) 演習			
1	社会福祉演習	2015.4-2015.8	社会福祉演習にてなぜ学ぶのかがわかるように、また、大学生としてのリテラシー向上のためのシラバス見直しを全面的にはかった。
2	社会福祉演習Ⅳ	2015.10-2016.2	学生が関心をもったシステムや機関との連絡調整をはかり、学外からの情報収集が円滑にすすむように支援した。
(3) 実習			
1	ソーシャルワーク実習	2015.4-2016.3	科目責任者として、対象となる全社会福祉実習施設との連絡、調整の管理、対象学生50余名の指導が適切に行われるようにした。
2	IPW実習	2015.4-2015.10	IPW実習が円滑に進むよう、対象施設及び学生との連携、情報共有を適切に行った。
(4) 論文指導			
1	卒業課題研究 論文指導	2015.4-2015.11	8名
(5) その他			
1	サークル活動顧問	2015.4-2016.3	学生ボランティアサークルMAGO,フレイメン(合唱)、卓球、ALS夜間介護ボランティア海、僕らの夏休みProject 5サークルの顧問として支援
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
	開催年月		
1	一般公開講座	埼玉県立大学	「在宅医療を共に考える」市民のための地域包括ケアとは
2	2015年度 専門職連携スキルアップ講座	専門職連携協働講座	スキルアップ講座
3	2015年度 専門職連携アドバンス講座 2回連続講座	専門職連携協働講座	地域ケア会議編
4	春日部市ふれあい大学	春日部市	高齢者福祉論
5	すぎなみ地域大学	杉並区	介護者支援の方法とボランティア
6	臨床家のためのIPW(専門職連携実践)	首都大学、東洋大学、佐久総合病院との協働による「臨床家のためのIPW」研修会	リフレクションとは何か
7	社会福祉士実習指導者講習会	社会福祉子ども学科	実習プログラミング論
2015.6			
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	地域ケア総合評価機構	理事	2010～現在
2	埼玉県東部保健医療圏地域保健医療協議会在宅医療部会〔春日部・越谷・松伏部会〕	アドバイザー	2015.4～2016.3
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	市報こしがや 健康コラム	介護保険制度の改正について	2015年6月
5. 学内運営(委員会委員)			
1	倫理委員会		
2	研究推進委員会:共同実験管理部会		
3	地域産学連携委員会:地域専門職連携推進部会;埼葛南専門職連携推進会議担当		
4	埼玉県立大学 平成27年度 大学特命プロジェクト 日本一大学構想<教育の向上>プロジェクト委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		